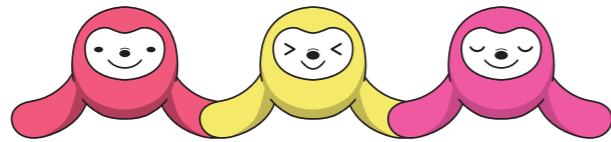


見テミル 来テミル 触れテミル

高槻市市民公益活動サポートセンター登録団体 紹介冊子



発行：高槻市市民公益活動サポートセンター 管理運営委員会

後援：高槻市

(発行日：2021年 1月)



目次



活動分野別 団体紹介

人権、医療、パソコン…4
シニア…6
震災・ボランティア、防災…7
子ども…9・12・14 - 15
外国人…17 - 18
自然・環境…19 - 20
文化…20・22
保健…22
音楽…22
地域活動・ボランティア…24 - 25

開催概要…2
NPOとSDGs…3

お楽しみ

配食サービスいきいき会人気レシピ…10
もものきょうちょお菓子づくりのコツ…11
4コマ漫画…18・25

お役立ちコラム

防災コラム…7
外国語のお話…17

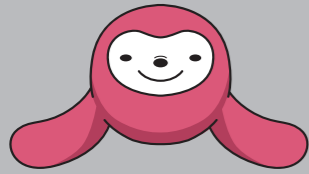
団体インタビュー & 体験レポ

こころのケアネットワーク IN おおさか…5
高槻つばめ学習会…8
起立性調節障害カラフル…13
ほむすびの会…16
GHC 花と緑の救援隊…21
摂津響 Saal…23
自助具製作ボランティアグループわかば…26

編集後記…27
登録団体一覧…28 - 29

掲載の団体にご興味があれば
サポートセンター(668-1781)
までお問い合わせください。





【こんにちは。
高槻市市民公益活動サポートセンターってこんなところですよ！】

マスコットキャラクター：たっずん

高槻市市民公益活動サポートセンターは、2003年(平成15年)3月、ボランティアやNPO活動等、市民が行う非営利の自主的・主体的社会貢献活動である市民公益活動をサポートし、その活性化と活動基盤の強化を図るとともに、市民、団体、事業者、市相互の連携及び協働の推進を図り、以って住みよいまちづくりに寄与するため設置されました。その拠点として、JR高槻駅前グリーンプラザ3号館1階の「協働プラザ」と西大冠小学校内にある「協働プラザ西冠」の二つの施設を置き、登録団体により組織する「高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会」が高槻市と協働で運営を行っています。

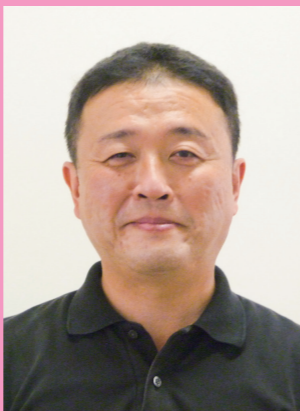
さまざまな地域課題の解決に向け、市民活動に取り組んでいる団体や、これから活動に参加しようとしている人たちを後押しするとともに、活動しやすい環境を整えることを目指しています。



【誌面でつながろう市民活動】

NPO協働フェスタは、高槻に住む皆さまへNPOや市民団体の活動を紹介し、団体間のつながりをつくる場として開催しています。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止を第一に、フェスタの開催を中止させていただきました。年に一度の貴重な情報発信と交流の場を何らかのカタチで実施できないか、フェスタ実行委員の皆さまと検討を重ね、「テミルー見テミルー来テミルー 触れテミルー」を発行する運びとなりました。ここでは高槻で活動する団体の様子や想いを知っていただくことができます。ぜひ興味のある活動を覗いてみてください。本誌発行にあたりフェスタ実行委員、事務局スタッフの皆さまにご尽力をいただきました。心より感謝申し上げます。それではNPO協働フェスタ開幕です！！

高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会
委員長 杉本真一



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- * NPO(Non-Profit-Organization 非営利組織)：一般の市民が身近な地域で社会的な活動をする団体
- * NGO(Non-Government-Organization 非政府組織)：地球規模の問題の解決に取り組んでいる民間の団体

【SDGs (Sustainable Development Goals) って何でしょう？】

最近によく目にしたり、耳にすることの多い「SDGs」という言葉ですが、具体的に何のことか、ご存知でしょうか。一般的には「持続可能な開発目標」と説明されます。わかりやすく言うと「世界にある課題を、世界で解決するための目標」となります。2015年の国連サミットで採択されました。地球に住む全員に関係のあることなので、個人や企業がみんなで少しずつ日々の行動を変えれば具体的に掲げられた17の目標を2030年までに達成できる、というものです。「子ども」というキーワードで考えてみると、1「貧困をなくす」2「飢餓をゼロに」3「健康的な生活」4「質の高い教育」5「ジェンダー平等」6「安全な水」8「完全雇用」11「街づくり」16「虐待防止」と、9つの目標が重なります。身近な活動としては、子ども食堂や放課後学習支援など、いくつものNPOや市民活動団体がすでに取り組んでいます。

また、14の「海の豊かさを守ろう」という目標を例に取って考えてみると、プラスチックごみの廃棄などの海洋汚染を食い止めるために、マイバッグやマイボトルの使用、プラスチックスプーンを使わない、など私たちひとりひとりができる方法で目標達成に貢献できるのです。あわせて漁業従事者を守ることで、8の「働きがいも経済成長も」という目標達成にもつながります。

【NPO × SDGs】

目標達成に向けては、自治体だけではなく官民連携し、企業・金融の力を生かした社会的投資の拡大が必要となってきます。17の目標の中では環境問題や国際協力、貧困問題など、すでにNPO・NGOが積極的に活動しているものが多くあります。NPO・NGOは長い活動の中で培われた専門的な知識やノウハウ、情報を持っています。企業や自治体がSDGsの取り組みを始めようとしても、何をすれば効果があがるのかわからない。そんな時にNPO・NGOから学び、さらに連携・協働することでお互いの利点を生かすことができます。NPO・NGOにとっては支援者と出会える可能性もあり、活動が活発になることでSDGsの目標達成へとつながっていくといえます。私たちサポートセンターも第15回のフェスタでは、SDGsの目標に照らし合わせて自分たちの団体の活動を見直す、という取り組みを行ないました。そして、各団体それぞれSDGsの目標を掲げて活動を進めています。

NPO 法人 SEAN



一人ひとりが自ら行動を起こすことでエンパワメントし、つながることでさらなる行動を起こし、性別・年齢・障がいの有無にかかわらず「すべての人の存在意義が認められ、活かされる社会」の実現をめざします。

ビッグイシュー高槻



高槻の販売者の山田裕三さん
売り場は JR 高槻駅南側デッキエスカレーター下

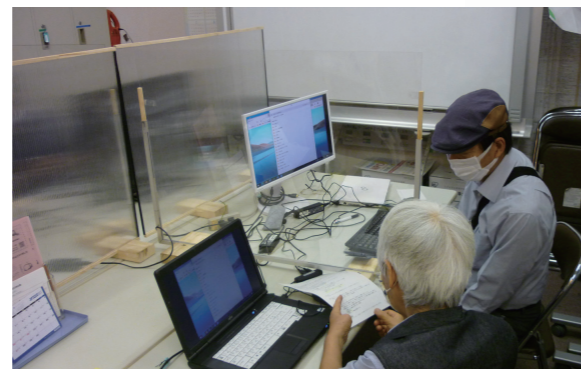
ホームレス状態の人達を応援する雑誌『ビッグイシュー日本版』（定価 450 円のうち 230 円が彼らの収入になる）の高槻の販売者を応援しています。JR 高槻駅南側のエスカレーターを降りた松坂屋の前が販売場所です。

NPO 法人 こころのケアネットワーク IN おおさか



わたしたちは、さまざまな不安や生きづらさを感じている人にアウトリーチ（訪問型）による対話・相談活動を行っているグループです。スタッフは全員専門的な資格を持つ相談員ですので安心してご相談下さい。まずはお電話で。

NPO 法人北摂 SITA



解り易いをモットーにパソコン、スマホ、タブレット等の使い方を支援する団体です。ホームページの「パソコンお困りごと相談室」でオンライン相談を受けております。覗いてください。
<https://hokusetsu-sita.org>



こころのケアネットワーク IN おおさか

あなたの心の不安や迷いに寄り添います

「こころのケアネットワーク IN おおさか」は、精神対話士や社会福祉士などの専門的な資格をもった心のケアのスペシャリストたちで構成された NPO 法人です。日常生活の中で生きづらさを抱え、心に不安や迷いを感じている相談者に寄り添い、個別相談で話を聞き、対話によって心を癒し、相談者自らが前向きに生きていくための心の支援を行われています。普段は高槻市内の会場で月に 1 度の定例会を行っていますが、アウトリーチといった訪問支援をすることも多いそうです。

<ポスティングから訪問支援まで。全ては SOS を見つけるため>

メンバーの皆さんは普段はそれぞれ職業としての精神対話士として活動されていますが、地域の方に貢献したいという強い思いから、「こんにちは！無料個別相談会」での個別相談は、継続分を含めて全て無料で行われています。SOS を受け取るための、個別相談の日時や開催場所などが書かれたチラシも仕事の合間をぬって、毎回千枚近く自分たちで各戸にポスティングされています。精神疾病・生活困窮・高齢者の一人暮らし・引きこもり・家庭問題など SOS は様々で、相談予約は HP・チラシ・電話でお知らせしているのですが精神的事情や身体的事情で会場に来られない方も多く、そういった方には相談者の自宅など指定された場所に訪問支援をすることもよくあるそうです。

また、1 度の面談で解決するような相談ばかりではなく、長期に渡りサポートが必要な場合や、本人だけでなく家族のケアなど最終的には家族まるごとの支援や、家族の協力が必要なこともあるそうです。

<どんなことでも親身になって>

今まではどちらかと言うとシニアの方からの相談が多かったそうですが、7 年目を迎えた「こころのケアネットワーク IN おおさか」ではコロナ禍で増えている SOS や若い世代で困りごとを抱えた人、女性の社会進出が進む中で女性からの SOS、と困りごとが多様化してきているようです。そこで若い世代や子育て世代も相談しやすいようにと従来のチラシや HP でのお知らせだけでなく、メールや LINE、ZOOM などでの相談も柔軟に検討し、支援が必要なのに届いていない人たちにどうすれば自分たちの活動が届き、幅広い世代からの SOS を見つけられるのか模索中だそうです。しかし、深刻な悩み事ほど声のトーンや顔色を見ながらの対面相談でないと、文面だけでは伝わらないし間違った伝わり方をすることが一番怖い、と代表の黒田さんと三石さん。相談者に寄り添い、真摯に向き合うことでこれからも 1 つでも多くの SOS をキャッチしていきたいとのことでした。



シルバーアドバイザー高槻



60歳以上の男女が集まったボランティアグループで歌体操の指導をはじめ、学童に手作りおもちゃ作り指導やオカリナ演奏等を行って30年。ボランティアを行う為の研修会を毎月1回行っていますので参加お待ちしております。

NPO 法人いきいき会



食で地域を支える配食サービス活動を始めて30年。生活の基本である「食の保障」をめざして、食事作りの困難な方々に栄養バランスのとれた食事を、ご自宅までお届けしています。併せて安否の確認も行っています。

笑顔広がれプロジェクト高槻支部



東日本大震災の津波で、幼稚園のバスの中で一人娘を亡くした高橋ひろみさんが「子どもの命と笑顔を守ろう」と立ち上げ、ひまわりの種を添えて防災メッセージを伝えています。高槻でもひまわりの輪を広げています。

NPO 法人高槻技術協会



PSP（安心、安全、安住）を街づくりを活動理念に掲げ、防災セミナーの開催、防災情報・備品類の展示会、高槻フェスタ等公的イベントへの参加を通じて、市民の防災意識の向上と防災活動の普及に努めています。

NPO法人 街かどデイハウスキャロット



高齢者が介護状態になるのを予防することを目標として活動しています。ますます元気体操を中心に行っています。太極拳・パソコン・ヨガは基本から始めて、能力に応じて次の課題に取り組んでいます。

NPO法人 高槻の高齢社会をよくする会



年老いても住み慣れた街で最後まで助け合いながら生き終えることを目指して、高槻北西部を中心に活動しています。会員の互助活動を始め、介護事業と介護予防活動、認知症の人と家族を支える協働活動、勉強会など、頑張っています。

■「非常時持ち出し」について～初期段階の考え方～

- ☆1日目は避難と避難場所の確保
- ☆2日目は「共助」の活動が本格的になっていく
- ☆3日目は「公助」が期待できる

このような流れ（考え方）から、初期の緊急持ち出しは「3日分」を基本に考えてみるべきと考えます。但し、飲料水・食料は重量もあり、またかさばるものもあり、場合によっては1日分だけ確保する考えを持つべきです。その他、身の回り品も多ければ万全ですが、重いと移動にも支障が出るため、最小限にとどめるべきでしょう。

（参考までに）



大きなものは重くなりがちなので、できるだけ小型なもの。耐熱素材なら理想的



折りたたみ式等、かさばらないものもあります。

文・高槻技術協会 一本久次



塾に通えない子どもたちにも自由な未来を

高槻つばめ学習会 無料塾で子ども達に平等な教育を

つばめ学習塾は、経済的な理由で学習塾に行くことができない中学生向けの無料学習塾です。「つばめ」という名前は、子として親から施しを受け巣立ち、親となってまた巣に帰ってくるつばめのように、生徒として講師からの善意を受けた子どもたちが「自分もいつか人の役に立ちたい」と社会や次の世代の生徒たちに善意を還してできるようになればと名付けられました。講師として教えるのは幅広い年代の有志で、子どもたちの力になりたいと無償で参加しておられるのだとか。ひとり親家庭や兄弟の多いお宅などでは学習塾に行けないことで進学情報を得られず高校入試で不利になるケースも少なくなく、そういった子たちの希望になればと活動されています。毎週開催の土曜学習会のほか、オンライン添削や夏休みの工作教室等随時イベントも開催されています。

高槻つばめ学習塾は、代表の茶山さんが東京の「八王子つばめ塾」を見学に行かれた際にそのコンセプトに共感し、高槻に持ち帰って2016年に活動を開始されました。

「経済的な理由で進学や受験を諦める子が少しでも減れば」と笑顔で話される茶山さんの言葉からは、生徒たちを我が子のように大切に思われている事が伝わってきます。

<塾にいけないことで未来を諦めてほしくない>

学習塾や家庭教師などの教育費は年々高くなっており、家庭の経済レベルによって受けられる教育や情報の格差が開いてきています。「進学したくても塾に通う費用が準備できなかったり、家庭での予習復習ができず学校の授業についていけない子にも、我慢することなく自分の未来を切り拓くためのステップとして活用してほしい」とボランティア講師のみなさんと共に運営されています。「教育費を理由に子どもを望まないご家庭もあるようですが、無料塾という選択肢もあることを多くの方に知ってもらいたい」と茶山さん。

<第三の大人として勉強面以外でのサポートも>

無料塾の活動は口コミで広がり毎年20名程度の生徒を受け入れておられます。生徒だけではなく講師として参加したいというボランティア希望者も多く、遠方から参加されている方も少なくないのだとか。実際に拝見してみると、勉強を教えるだけでなく、子どもたちの進学や家庭の悩みの相談にのるなど、親でも学校の先生でもない第三者として関わることで、子どもたちの生活面でのサポートも担っておられるように見受けました。塾に行けず困っているお子さんや、子どもたちの役に立ちたいとお考えの方はまずはホームページの問い合わせフォームよりご連絡下さい。

(取材: 松田知美)



講師の江木さん



代表の茶山さん

高槻つばめ学習会



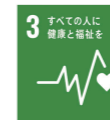
経済的に通塾が難しい中学生への学習支援を行っています。毎週土曜日の学習会では、10代から70代まで約40名のボランティア講師が活動しています。今年度は、子供の未来応援基金の支援を受け実施しています。

できたよできたおべんとうの会



こどもたちが自分でお弁当を作る会です。「献立を決める、作って詰める、お弁当箱を洗う」という一連の作業をこどもたちが中心になって行なっています。月一回、放課後や休日の午前中に開催しています。

NPO法人CAP みしま・大阪



CAP みしま・大阪は高槻を中心に活動し、3歳～18歳までの子どもたちにそれぞれ発達段階にふさわしい寸劇、歌、人形劇、討論などを盛り込んで、子どもを怖がらせることなく暴力防止の具体的対処法を教えます。

NPO 法人ノート



ノートは、不登校生を支援する相談員らが2003年に設立し、再登校のサポートや交流学習会等を展開しています。また2007年より、子どもの自然・農業体験プログラム「わくわく探検隊」を毎月開催しています！

ここに紹介するレシピは、配食サービスいきいき会のメニューの中から、利用者さんに人気のある献立を掲載しました。

晴れの日にささっと作れる黒豆のおすし

材料 (4人分)

- 炒り黒豆 60g ・大葉 10枚 ・卵 2個
- 米 420g (3合) ・ちりめんじゃこ 20~30g
- 合わせ酢：米酢大さじ5 砂糖大さじ2 塩小さじ1



作り方 ① 米は洗って30分水につけザルにあげます。黒豆に適量の酢をふりかけます

- 炊飯の水の量500ccに対しお酒10ccをいれ①と黒豆を入れて炊きます。
- 卵は薄焼きにして錦糸卵に、大葉は千切りにします。
- 合わせ酢にちりめんじゃこを浸し、炊きあがったご飯と混ぜ合わせる。
- 盛りつけてから、錦糸卵と青じそで飾ります。

鶏胸肉の治部煮

材料 (4人分)

- 鶏胸肉 (皮なし) 300g
- 生椎茸 4個
- 人参 4切れ
- 青菜 2株 (好みで増量)
- 片栗粉、小麦粉 各大さじ3



調味液

- だし汁 300cc、酒 大さじ2 醤油 大さじ1.5 砂糖 大さじ1.5 みりん 大さじ2

作り方

- 胸肉は少し厚めのそぎ切りにし、小麦粉と片栗粉を満遍なく混ぜて胸肉をまぶし余分な粉をはたきます。
- 生椎茸は石づきをとり、人参は食べよい大きさに切って茹でておきます。青菜は茹でて食べよい長さに切ります。
- 鍋に調味液を煮立てておきます。
- 平らな鍋に①を並べ、被る程度に③を注ぎ中火で煮ます。煮あがったら煮汁を残して取り出し、残りの調味液を加え、②をいれて色よく仕上げます。
- 盛りつけて、ワサビを添えます。

鶏胸肉のバター焼き

材料 (4人分)

- 鶏胸肉 (皮なし) 350g
- インゲン、ピーマン等 約20g
- しめじ 1パック ・バター 25g

作り方

- インゲンを使う場合はさつと茹でておきます。(電子レンジでも)
- 胸肉は厚さ1cmぐらいのそぎ切りにします。塩、コショウ各少々を振り小麦粉を薄くまぶします。
- フライパンにオリーブ油大さじ1を熱し、鶏肉を中火で焼きます。動かしながらムラなく焼き色をつけ、裏返します。フタをして弱火で3~4分蒸し焼きにします。バターを入れて鶏肉にからめます。しめじを入れてさつと炒め、①を加えて温めます。
- お好みのソースをかけてお召し上がりください。

鶏胸肉には良質の蛋白質が多く、低脂肪です。また、疲労回復を促す成分「イミダペプチド」が豊富に含まれていることが分かってきました。

お菓子作りの基礎



3 同割スポンジケーキ

材料

薄力粉：グラニュー糖：卵 / 1：1：1 / 15cmのケーキ型で大体こんな分量です。
薄力粉100g：グラニュー糖100g：全卵2個 (Mサイズの卵で1個約50g)

コツなどなど

- 薄力粉は50cmくらい上からふるいにかける。
※50cmくらい上からふるうと空気がしっかり入ります。
- 卵の泡立ったかの目安は、泡立て器を持ち上げて、生地の上の「の」の字を書いてみて、ほんのり字が浮き上がるくらい。
- ハンドミキサーが無くても、泡立て器で下から空気をたくさん入れるように泡立てると5分もかからず泡立ちます。寒い季節は、湯煎すると泡立ちやすくなります。
- 泡立て終わったら、全体をゆっくり回すように混ぜて、泡を均一にすると、焼き上がりのスポンジのきめが整います。
- 薄力粉を入れたら、ゴムベラで切るように混ぜます。そして、時々底からすくい上げるように混ぜます。ぐるぐる混ぜると、きれいに膨らみません。
- 型に流し入れた後は、畳んだタオルの上に、型を5cmくらいから落として空気を抜くと、きれいなスポンジになります。※5回くらい。
- 焼き上がりの確認は、中央部分を上から押さえて、弾力があれば、しっかり中まで焼けています。慣れてくると、竹くしを刺さなくても、押さえただけでわかります。
- 焼きあがった上の部分は、切り取って乾燥させてから、粗目のふるいにかけると、デコレーションに使えます。

4 同割パウンドケーキ

材料

薄力粉：グラニュー糖：卵：バター 1：1：1：1
18cm (容量800mlくらい) のパウンドケーキ型で大体こんな分量です。
薄力粉100g：グラニュー糖100g：全卵2個：バター100g

コツなどなど

シュガーバター法

パウンドケーキなどを作るときに、グラニュー糖とバターを泡立てる技法

(ア) バターを常温で柔らかくなるまで置いておく。

(イ) バターとグラニュー糖をボールに入れて、白っぽくなるまで泡立てる。

この技法を使うと、パウンドケーキにベーキングパウダーを入れなくても、ふんわり膨らみます。

② 卵は溶きほぐしておき、数回に分けて混ぜ入れます。ここでバターと分離してしまっても、薄力粉を入れたときに馴染むので、あまり気にしなくても大丈夫です。

③ 焼きあがったらシロップを刷毛でたっぷり含ませると、しっとりしたパウンドケーキになります。さっくりした触感が好きな方は、少なめに。

元パティシエールの私、とっても横着者なので、材料を量らずに目分量で作ることが多いのですが、お菓子の専門学校で教えていただいた同割という基礎のおかげで失敗知らず。卵を増やせばふんわりするし、バターを増やせばしっとりします。バターをサラダ油にかえると弾力が出ます。基本さえ頭に入れておけば、後は足したり引いたりして、オリジナルレシピが簡単にできますよ。

(もものきちょうちよ：小林)

起立性調節障害カラフル

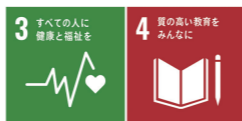


活動内容 (1) お子様と同じ病気を持つ保護者同士のおしゃべり会を2ヶ月に1度開催しています。(2) 会活動の周知をしています。(3) 子どもが安心して過ごせるように関係機関と一緒に考えています。

とらいさぽーと



とらいさぽーとは発達の子どもの気になる子どもと保護者のための支援活動を行なっています。学齢期から青年期までのサポート教室と青年期移行の地域生活支援室では、個別ニーズに沿った学習や余暇活動を実施しています。

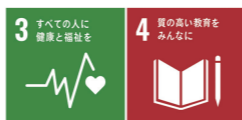


「子どもの文化」ネットワーク



「子どもの文化」ネットワークは子どもたちが人間として豊かに成長し、地域で生き生きと子ども時代を過ごせることを願い、2005年子どもの文化に関わる6つのグループが結成し、高槻市内で各々活動を続けています。

NPO 法人はぐくみ 里山はぐくみ園



北摂で活動する森のようちえんです。自然活動を通じて主体的な遊びや学びを促し豊かな感性・のびのびとした心と体・思いやる気持ちを獲得できることを目指しています。自己肯定感・自己効力感・相互承認力を育みます。



「病気の事を広く知って貰いたい」と平野さん

起立性調節障害カラフル 「知る」ことで救われる人がいる

起立性調節障害は自律神経が崩れることにより、朝起きられなくなったり体に不調をきたす病気です。軽度の症状から含めると成長期の中高校生10人に1人がこの病気を患っていますが、世間的な認知度の低さから「サボり癖がついている」と理解されないこともあります。

自身の経験から「身近に共有できる存在を」

カラフル代表の平野さんも、娘さんが小学4年生で急に、起こそうとしても目を開けず目を覚ますまでに1時間以上がかかるようになり、異変を感じて病気が発覚しました。学校に話しても理解してもらえず、甘やかしていると言われる事も…。

「身近に理解してくれる人はいませんでした」と平野さん。当時は神戸にしかなかった起立性調節障害の子を持つ親の会に参加したところ、同じ環境の親たちと話すことで情報交換ができ、体調の悪い子と向き合う辛さを共有することで前向きになれたと言います。

その会に通う北摂在住メンバーと集まり始めたのが「カラフル」の発端になりました。カラフルでは二か月に一度の「おしゃべり会」をメインに活動しています。平野さん自身がそうだったように、同じ境遇の人と話すことが起立性調節障害の子を持つ親にとっては救いになると考えたからです。互いに症状や悩みをシェアしたり楽しく話すことで、明日への英気を養います

〈学校と家庭の協力で子を見守れる環境を〉

二年前からは教育委員会と協力して教育現場への認知を高める活動も行っています。

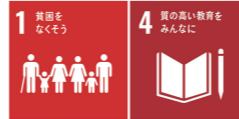
「先生方が病気について正しく認識してもらえれば学校に行けない子も安心して在籍できる環境が作れます。」と、平野さん。母として個人ではできなかったことを実現させるべく、日々活動されています。

NPO法人地域ひといき



当法人は小地域の虐待予防に特化した虐待予防システムを構築し、虐待予防の先駆的事例を全国に発信し、そのモデルが全国に広がることで虐待を減らしもって、社会に寄与する。

一般社団法人はらいふ



自然豊かな地域にある一軒家で、若者・子どもが自由に学ぶ場（フリースクール）を運営しています。不登校・ひきこもり・高校中退などでお悩みの方の相談もお受けしています。

一般社団法人テツナグ



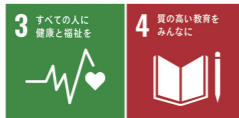
高槻を中心とした北摂の子育て情報やコラム、体験レポートなどを発信するHPを運営し、子育ての時間を親子で楽しめるようにサポート。親子で楽しめるイベント「テツナグフェスタ」を開催し、地域と子育て世代をつないでいます。

たかつき保養キャンプ・プロジェクト



2011年の福島原発事故での被災地の子ども達を、毎夏1週間、高槻に招き、摂津峡での川遊びなどでリフレッシュしています。多くのボランティア（高校生も）が参加。今年はコロナ禍で中止、来年に向けてボランティア募集中！

一般社団法人 子どもの発達を促す運動遊び協会



子どもの発達を促す運動遊び協会は、子どもや高齢者に対するビジョントレーニングの普及・振興事業、並びに、子どもの発達を促す運動遊びの指導者講習会、及び運動遊び教室の開催事業などを行っております。

NPO法人 三島子ども文化ステーション



三島子ども文化ステーションは生の舞台を親子で体験する活動を46年。NPOフェスタでも子どもの遊びのひろばに参加しています。地域の子育て支援「つどいのひろば」と「一時預かり」も運営し、たくさんの利用者で賑わっています。

studio FREESTYLE



高槻市内の保育園・幼稚園・学校写真の撮影&アルバムなどの制作を行っています。また撮影を通じた地域活動にも力を入れており、高槻市内で開催されているイベント撮影や、全年代へ向けた「カメラ講座」も開催中！

ほむすびの会



雨の日の散歩。傘に跳ねる雨、前髪をつたう滴がキラキラ。水たまりを跳びこえたら転んだ。カエルが笑う。難しいこと、取るに足らない心配事は無しに、母も一緒にヘトヘトになるまで遊ぼうか。野外自主保育の会。毎週元気に活動中！



ほむすびの会 ~焚火をして人と人を結ぶ、その先にあるもの~

自然の中で育ったという辻本さんは、自然に寄り添った子育てをしたいと思い、外で遊べる場所を探して子どもと過ごしていましたが親子だけでは退屈だと思い始めたころ、同じ価値観を持つお母さんたちが集うようになり焚火をしたりハイキングや川遊びをするようになりました。それが現在の「ほむすびの会」となったそうです。「ほむすび」の「ほ」とは火のことで、「焚火をして人と人を結ぶ」という想いが込められているそうです。

【子供もお母さんも楽しく過ごせる居場所】

「ほむすびの会」は現在 50人程の登録があり、週に 1度の集まりには未就園児がいる親子を中心に毎回 10組程が参加されているそうです。活動内容は春は野山散策・夏は川遊び・秋は焚火で好きなものを焼いて食べ・冬は焚火を囲んで暖をとるなど、季節に応じた自然との触れ合いをして過ごすそうなのですが、楽しみにしているのは子どもだけではなくお母さんたちも同じ。というも子育ては孤育てと言われることもあり、社会から孤立した中での子育てで不安を抱えているお母さんが近年社会問題にもなっていますが、「ほむすびの会」では幅広い年代・地域のお母さんが集い、焚火を囲んでたわいもない話や子どもの話をして交流する場もあります。それだけでもとても楽しく、子どもが就学してしまっても「私だけ行きます！」と参加されるお母さんもいるほどだそうです。また、そういった親子のために、週 1の会だけではなく、それとは別に月 1回休日にも会を開催されています。



【自然の中で芽生える子どもの自主性】

年に 2回のキャンプでは普段より大きな焚火をするそうなのですが、そこでは子どもたちが集合場所まで木を拾いながら、ときには引きずって持ち寄り、落ち葉を集めてマッチをすり火をおこす・・・といったように大人はほとんど手を貸さず子どもが主体で火おこしが進みます。「小さい子でもできるということは、火は怖いものでも難しいものでもない。火をおこすということは生きる知恵です。生きる力に繋がっている。」と話してくれた辻本さんですが、その一方で「大義名分がないと集まってはいけないわけではない。外で過ごすことも体もリラックスできるなあ、と難しいことは考えずに当たり前のことを皆で楽しく学び遊べたらいいなと思います。」と語ってくれました。「ほむすびの会」の活動は Facebook で公開中で、一緒に楽しみたいメンバーも随時募集されています。

異文化を楽しむ会 うさかめ



外国人に日本語が上達できるように指導しています。コロナ禍でオンライン学習を始め、2月から手づくりマスクを、7月からは冷感マスクを無料で配布中。仕事が無くなったり、不安・不便を受けた人たちを支援しています。

◇外国語のお話◇

私の古い友人で大手商社に勤務している男がいた。海外勤務が長いにもかかわらず、彼の英語はお世辞にも旨いとは言えなかった。その彼がフランス語を話すと、とても流暢に聞こえる。彼のフランス語は社会人になってからテープを聞いて覚えたそうだ。

私が海外駐在していた頃、現地の日本人学校の小学生だった娘の授業参観に行ったことがある。当日の授業は英語会話だったが、英国人の先生は日本語が話せない。先生はもっぱら英語で話しかけて、子供たちは英語で歌ったり、ゲームをして遊んでいた。半年もたった頃、娘がきれいな発音で英語を話すようになったのには驚いた。

その当時、お隣にはドイツ人の家族が住んでいて、同じ年ごろの娘がいたので、お互いに行き来して一緒に遊んでいた。暫くすると、お隣の子は日本語で、うちの子はドイツ語でおしゃべりしている。それを見て、言葉って、赤ちゃんが言葉を覚えるように、聞いている内に自然に話せるようになるものなのと思った。

定年後、クスクスに入会してすぐに、アメリカ人女性に日本語を教えるようになった。ある日、彼女に「How to use Un」と質問された。「行きます、帰ります」は典型的な「ます形」だが、「行くんです、帰るんです」の“ん”はどんな時に使うのか？これには、はたと困った。

ふだん何となく話している日本語にも文法があって、言葉の使い方には一定の法則がある。外国人が日本語を習得するためには、日本語の仕組みや文法を教えないと理解できない。外国語を話せるようになるためには繰り返し耳から覚え、外国語を短期間に理解するためには文法から入った方が良いというお話です。

海外協力グループ“クスクス”



海外協力グループ「クスクス」は高槻市在住の外国人市民に日本語を教えるボランティア活動をしています。ボランティア活動をしてみたい方、日本語を勉強したい方は下記まで。森勝則 090-9118-5890

海外協力グループ“クスクス” 森 勝則

公益社団法人 アジア協会アジア友の会



JAFS 高槻は、民間国際協力団体（公社）アジア協会アジア友の会の高槻地区会でカンボジアに井戸建設するためのチャリティイベントや地元のアジア人を交えての交流会などを定期的に行っている国際交流団体です。

多文化共生サロン高槻



私達は市内に在住する外国人が相互理解のもと安心して生活出来る町づくりの為、日本語指導や教育支援、医療や福祉の生活支援、異文化理解交流等の活動を色々な国の言葉で行っています。皆様是非一緒に活動しましょう。

NPO 法人芥川倶楽部



芥川への愛着や関心を高めることを目的に、2005年から活動しています。生き物観察・調査をはじめ、アユの遡上調査や仔魚調査、毎月の定例活動、イベント活動、魚みちづくりの活動、など多様な活動を行っています。

高槻里山ネットワーク



豊かな里山を守り次の世代に引き継いでいくために、里山の保全、女子会による草木染め作品作り、児童・園児の里山体験学習、市民への七夕笹配りなど地域住民との交流を図り、安全を第一に楽しみながら活動をしています。

バーンパンダー



外国出身の人たちに日本語、文化、習慣などを知ってもらい、日本で生活できるように生活・精神面での支援を行っています。会員：女性18名、男性2名。内訳は日本人15名、タイ、インドネシア、カナダ出身者5名。



ウェルカムサポートセン

公益財団法人日本熊森協会



多様な動植物が人と共に生きる豊かな森の保全・復元の活動をしている全国組織の実践自然保護団体です。北大阪地区の活動は、小学校、幼稚園での環境教育、森林の間伐・植林、保護飼育クマの世話等です。

本山寺自然環境保全地域を考える協議会



大阪府は高槻市本山寺周辺のもみ・ツガ・アカガシ等の貴重な森林を昭和53年に自然環境保全地域に指定しました。ところが、この森林が消滅の危機に瀕しています。この森林を守るために2010年より活動をしています。

茨木・高槻自然に親しむ会



「自然観察インストラクター養成講座」の茨木・高槻在住の修了生が、2009年に立ち上げました。“身近なフィールドでの自然観察を通じて自然を感じ、楽しみ、親しむとともに自然環境を考え、守り育てる”を目的に活動しています。

高槻マジッククラブ



クラブ創立は平成元年、2年前に「30周年記念フェスタ」を開催しました。会員は14名、50～80歳代です。各施設へ積極的にボランティア出演を行っています。月2回の練習会は富田公民館です。現在新規会員募集中です。

NPO法人GHC花と緑の救援隊



剪定を中心とした花と緑に関わる事業を軸に、様々なボランティア活動を行っています。会員のサークル活動も活発です。今年から高槻市に拠点を移し、地域に密着し、よりニーズに応えられる活動を目指しています。

棕の会



宇津木秀甫「高槻物語」からのお話を一つ一つ紹介し、その話の歴史的背景や地図、政治、人々の生活等を話し合い、宇津木が取りあげた意図もわかればと思います。2, 5, 8, 11月に行ないます。H・Pもご覧下さい。



GHC 花と緑の救援隊 庭のお手入れなら、GHCにお任せ

高槻市市民公益活動サポートセンターに登録する団体は、普段は会議などで顔を合わせることが多いのですが、逆に言うと他団体の活動の場にお邪魔する機会は意外と少ないのです。この記念誌作成にあたり、テツナグのスタッフがGHCさんの活動を体験してきた様子をレポートします。

【熟練の技術と経験は、GHCさんならではの魅力！】

今回お邪魔したのは、高槻市内のとある民家。GHCさんはお庭の剪定をする活動などをされていますが、利用者さんは若年層からシニア層まで多種多様。

「庭は好きだけど、大きな木などは自分で手入れができない」「自分で手入れの方法がわからない」といった市民のニーズに応えているそうです。車から剪定ばさみなどを取り出し、剪定の準備を進めるGHCのスタッフさんたち。同時にお庭の様子を見て、どのような手順で作業を進めるかも相談されていました。準備が整うと、いよいよ庭の木などに手を入れていきます。私も、スタッフさんに説明を伺いながら、実際に作業をお手伝いさせていただくことに。形を整えながら、葉を落としていく作業から行ったのですが、スタッフさんたちはテキパキと作業をされているのに、私は戸惑って上手にできません。



でも皆さんが優しく教えてくださったので、少しずつ慣れてきました。慣れてくると全体のイメージが湧き、次にどこにはさみを入れようか…と考えるのが楽しくなり、次第に作業に熱中するように。次に行ったのは、紫陽花の枝を切り落とす作業です。枝を切り落とす作業も剪定ばさみで行ったのですが、来年や再来年に上手に紫陽花に花が咲くように、どの部分を切り、どの部分を残すのかを慎重に見て、丁寧に作業をされている姿が印象的でした。「大切なお客さまの庭だから、剪定をしてスッキリするだけじゃなく、隣の家に迷惑をかけないように整えたり、お手入れがしやすいようにしたり、いろんな事に気を配りながら作業しています」と教えてくれたGHCの皆さん。そのとおり、作業を頼まれた方も、作業をする様子を見て、とても満足そうにされています。

カメラマンさんの自宅にも紫陽花があるとのことで、紫陽花談義にも花が咲きました。一般的に自宅の庭にある木や草花についての造詣が深く、具体的なお手入れ方法も教えてもらったので、カメラマンさんもととても喜んでいました。

【他団体の活動を体験して見えてきたもの】

剪定作業をしていると、「どこの造園屋さんなの？」と声をかけてもらいました。そこで、GHCという団体が市民の皆さんのために、こうした活動をしていることを告げると、「あー！GHCさんね。私のお友達もお願いしているから、今度頼んでみようかしら」という嬉しい声をいただきました。普段私たちは、自分の団体がどのぐらい市民の皆さまのお役に立っているのか、どのぐらい知っているのかを知る機会はあるかもしれませんが、他団体がどのぐらい認知されているのかを知る機会は少ないものです。ですが今回の体験を通して、GHCさんが庭のお手入れにお困りの市民の皆さまに感謝されていることや、その活動に対する想いや、満足いく仕事をするために技術を磨いている姿を拝見し、改めて私たちがそれぞれ行っている市民活動が、皆さまのお役に立てていることを知り、いろいろな立場から、今後も取り組んでいきたいと思いました。



かげえ劇アクト座
昔ばなし語りべ集団

「こんにちは！ かげえ劇アクト座です!!」



光と影の贈りもの

おとなにはなつかしく
こどもには新鮮に！
のんびり… ゆっくり…
影絵の世界へようこそ!!

光と影から命が動き出す影絵。地元に語り継がれ、生きる知恵の詰まった昔話。これら優れた文化を伝えるべく、年1～2回の定期公演や外部からの依頼公演など、「アクト座」8名、「語りべ」11名で活動しています。

もものきちょうちょ



高次脳機能障がい・失語症の講座などを開催しています。「もものきちょうちょ」は、文字を並べ替えると「きもちのもちよう」になります。あきらめずに工夫と気持ちの持ちようで可能性を広げてがんばる団体です。

ハンガリーのタベ実行委員会



東日本大震災以降チャリティコンサートの企画等で活動しています。2019年1月に大阪府庁内の「正庁の間」においての演奏会を実施しました。音楽の力で前向きになれる企画のタイアップ先を募集しています。

摂津響 Saal



Saal (ザール) はドイツ語でサロンという意味、またそこに集まる人々の事を言います。会場にはドイツのピアノ銘器スタインウェイO型を設置。国内外の著名なアーティストを招いてコンサートを開催、またレンタルスペースとして皆様にご利用いただいています。



摂津響 Saal 摂津峡で身近に音楽を感じられる場所

ドイツ語で「サロン」という意味をもつ Saal(ザール)、自然豊かな摂津峡で緑に囲まれヒツソリと佇む建物からこぼれる優しい光。摂津響 Saalは、2004年にオープンした、隠れ家のような多目的レンタルスペースで、陶器の展示会や落語・音楽リサイタルなどあらゆるアーティストの活動の場でもあります。

元々はウェディング写真を撮るためのスタジオとして使われる予定だった建物で、いくつもの窓から見えるロケーションが最高です。ご縁がありピアニストでもある山口美樹さんがオーナーとなり、シンフォニーホールで演奏されるようなビッグアーティストや海外からのピアニストなど、Saalでのリサイタルには知名度の高いアーティストが多数出演されています。また、小さい子どもでも参加できるファミリーむけのコンサート、保育所での訪問コンサート、ピアノ教室や今年立ち上げたばかりの合唱団の活動、地元の野菜を使ったランチなど、地域の方との関わりをととても大事にされています。

<やってくれてありがとう、聴いてくれてありがとう…一方通行ではない音楽>

今年初めからのコロナ感染症によって、国の緊急事態宣言中は今までできていたほとんどのことができなくなってしまい、「こういうとき、音楽って一番いらぬものなんじゃないか」と自問自答されたこともあったそうです。ですが、ロサンゼルスを拠点に活動している高槻市出身のサクソ奏者の井上知香さんが急遽帰国され、彼女との練習の中で、「せっかく演奏するのだったら」と Saalの窓や扉を全開にして演奏をしたところ、摂津峡を散策する多くの人に足を止めてもらえました。自粛中は運動不足解消のため、外を散策する人が多く、時には入り口に用意した椅子に腰かけて演奏に聴き入る方も多くいらっしゃいました。



<コロナ禍で音楽をするということ>

現在は無観客ライブや、窓を開け座席を半数に減らすなどコロナ対策を十分にとった演奏会と、音楽を届ける方法を模索しているとのこと。生演奏ならではの緊張感や、その時そこでしか聴けない音楽を味わって欲しいという想いもあるそうです。「コロナが収束したときに『この曲、あのおきザールで聴いたよね』と振り返って話してもらえたら嬉しいですね。クラシックは何百年も前から続く音楽で、いくつもの伝染病を乗り越え海をも越えて日本に辿り着きました。過去に何度も乗り越えてきているのだから、今コロナが流行ったからといってそれを止めてはいけません。音楽の分野をなくしてはいけません。ジャンルにこだわらず音楽を共有して次の世代に残すことが使命だと思っています。」と、強い信念を持ち活動されています。

ボランティアグループ槻輪



毎月の活動「わがまち紹介」で各所を探索し、ホームページや「VG 槻輪だより」に載せています。毎年「協働フェスタ」に参加し、眼鏡リサイクル活動など幅広く活動しています。

NPO 法人ナルク高槻・島本



今年26年目を迎えました。生きがい・自立・奉仕・助けあいを理念として、地域貢献するボランティア団体として活動しています。会員制で会員同士で助け合う時間貯託制度があります。困ったときはお互いさまを第1にしています。

Amour Non.no



地域へのアロマセラピー普及活動としてPTA講習会、職業体験、カフェやイベントへ参加し、香りを嗅ぐことによって、得られるアロマの芳香療法お伝えしています。サロンでは、アロマトリートメントを受けて頂けます。

たかつきライブラリーフレンズ



子どもからお年寄りまで、みんなが本と触れあえる高槻を目指して活動中。図書館と繋がりながら、ブックカフェ、講演会、会報などを通して、移動図書館休止地域のすみずみまで本と情報を手渡していきたいと思ひます。

ボランティアグループ阿武野



創立は平成6年、阿武野地区内でのボランティア活動を通じ「街・人づくり」に貢献を目標に発足。主な活動は、環境美化（ゴミ拾い）を月1回、青色パトロールを週1回、更に緑化フェアなど公共行事に参加しています。

住まいのおしゃべりと手仕事 Chotto(ちょっと)

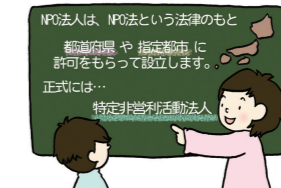


手仕事をしながら住まいや暮らしのことを気軽におしゃべりする会を、月一回開催しています。住まいについての「困った」「こうだったらな」「どうしよう?」「そうか!」という話題を共有し情報交換しています。

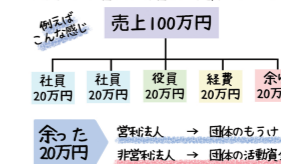
自助具製作ボランティアグループ「わかば」



「わかば」は1996年4月に結成したグループです。病気や高齢による体の機能の衰えた方の日常生活動作を自ら助ける道具（自助具）や障がい児のための机、排便器具、おもちゃ等の製作、普及、頒布が主な活動目的です。



法人には、営利と非営利の団体があって...



ウェルカムサポセン



自助具製作ボランティアグループ 「わかば」

特製自助具で「自分でできる」喜びを

自助具製作ボランティアグループ「わかば」さんでは、加齢による症状や障害により不便になった動作を助けるためのツールを製作されています。ペットボトルの蓋を開ける、爪を切るといった日常の生活動作を、人に頼まなければならないことにストレスを感じる高齢者の方は少なくありません。そんな出来なくなった事を自分で出来るように、補助してくれるのが自助具です。

メンバーは、前職で木工や金属加工を行っていた方から未経験者まで様々で、1996年に結成されて以降それぞれの技術を教え合いながら切磋琢磨し、活動をされてきました。時には依頼を受けてその人にあった特注の自助具を製作したり、市販品の改良をすることも。出張展示や製作体験講座の開催など自助具を使ってより多くの方が便利に暮らせるよう認知普及活動にも力を注いでおられます。

わかばは木工製品を中心に製造をされていた高木さんが、自助具製作の草分けとも言える「自助具の部屋」の講座を受けたことから始まりました。講座終了後、茨木で仲間と共に「わかば」を立ち上げ、自助具の製作をするようになりました。

<「その人の使いやすさ」にこだわった自助具を>



身近にあるものを加工して使うことも多く、缶のプルトップを軽い力で開けられる自助具は、元々は百円ショップのスプーン！市販でも体の不自由な人が便利に使える商品が多く見られるようになりましたが、それだけでは対応しきれないケースも多い為、なるべく低コストで「不便」を解消できる物をと考えられています。「その人の症状や不便な事例に合わせてオリジナルで作るのも我々の存在意義だと思っています。」と、高槻事務所代表の柴田さん。

個人から依頼を受けてその人だけの特注品を作ることもあるそうです。症状や境遇がそれぞれに違うため、どういったところに「不便」があるのかを知ることが難しく、何をすれば必要とされているのかを日々模索されています。

<認知度拡大で知らずに困っている人を助けたい>

自助具の事、わかばの事、共に世間的な認知度は低く、一般からの依頼はまだ少ないのが現状です。自助具を必要としているのにその存在を知らず不便な思いをしている人を助けたい、できなくなってしまった事が再び自分でできる喜びを味わってほしいと、展示や講習会等で認知普及活動が行われています。夏休みの自由研究の補助やフェイスシールドの作成など、自助具以外でも必要とされれば協力を惜しみません。製作現場の見学希望や作ってほしい道具の問い合わせなどは電話でご相談を。(取材：松田知美)

【編集後記】

- この冊子を手にとってくださった皆様にとって、NPO がもっと身近な存在になりますように。そして皆様がお困りの際の一助になれば幸いです。
- NPO 活動は、市民が自分のできること、街や人のためにやりたいことを考え、自ら主体的に活動しています。そして世代を問わず、自由に活動に参加できるのも魅力の一つです。興味を持たれた団体があれば、活動に参加してみたいかがでしょうか。
- 私たちはアナタが仲間になってくれるのを待っています。
- ご覧いただきありがとうございます。
- 掲載の団体にご興味があればサポートセンター（668-1781）までお問い合わせください。
- 取材：一般社団法人テツナグ（若林宏美・亀田奈津子・松田知美）
- 撮影：studio FREESTYLE（平野谷雅和）
- 表紙写真提供：高槻スクランブル
- ※団体紹介の活動の写真・ロゴは、団体より提供されたものを使用しています。

登録団体一覧 (順不同)

NPO 法人 ナルク高槻・島本 / 一般社団法人 青い鳥 北協 / NPO 法人 ノーマライゼーション高槻 / 聴覚障害者のための防災ネットワークを考える会 / 社会福祉法人 花の会 / NPO 法人 こころのケアネットワーク IN おおさか / 成人 ASD 研究会一般社団法人 高槻ルーロー / 認知症家族の会ハナミズキ / 「僕のうしろに道はできる」自主上映実行委員会 / 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部 / 一般社団法人 タウンスペース WAKWAK / シルバーアドバイザー高槻 / タッチフォーヘルス / NPO 法人 高槻まごころ / アライブ / Amour Non.no / 対話の文化祭ネットワーク (仲間たち) / NPO 法人 きらら / すこやかサロン / 認定 NPO 法人 エンディングセンター / 福祉演芸活動「おもちゃ箱」 / NPO 法人 たかつき / あしたばの会 / 自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ / とらいさぽーと / 起立性調節障害 カラフル / マザープレイス / パラソル / パザパ / NPO 法人 日本スローワーク協会 / NPO 法人 つながりネットワークなかま / NPO 法人 きらきら星 / 社会福祉法人 高槻ライフケア協会 / NPO 法人 いきいき会 / NPO 法人 高槻の高齢社会をよくする会 / ボランティア “やまびこ” グループ / NPO 法人 北摂すまいるハウス / NPO 法人 福祉医療利用者ネットワーク ゆうゆう / NPO 法人 なごみの家 / NPO 法人 とうりゃんせ / NPO 法人 ほっと / NPO 法人 囲む会ヘリオフレンド / NPO 法人 自立支援センターたかつき / 認知症を理解し地域で支える会 / 高槻マジッククラブ / 街かどデイハウス キャロット / NPO 法人 み・らいず 2 / 自助具製作ボランティアグループ「わかば」 / 住まいる / NPO 法人 ほほえみケア / 社会福祉法人 友遊福祉会 / 社会福祉法人 そうふう会 ふれ愛たかつき / NPO 法人 街かどデイハウス みかん / 社会福祉法人 高槻ライフケア協会 地域交流センターあすなる / もものきちょうちょ / ハニーターンズ / NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ / 昭和明星倶楽部 / 一般社団法人 日本定年力検定協会 / NPO 法人 よろこびアラウンド / NPO 法人 ニュースタート事務局関西 / 関西ブライダルミッション / NPO 法人 高槻名誉市民を語り継ぐ会 / NPO 法人 たかつき市民カレッジ / シニア 100 ネット高槻 / 認定 NPO 法人 シニア自然大学校高槻支部 ネイチャーたかつき / 一般社団法人 スモールタウン / たかつき・しまもと市民フォーラム / NPO 法人 幸せな家庭環境をつくる会 高槻南支部 / MOA 高槻健康生活ネットワーク こすもす / コミュニティサポート 高槻グローバル / (摂津富田) 駅北まちづくりの会 / coco 縁側 / 園芸文化調査研究団 / 自然によりそうくらしの会 そわか / 古民家活用まちづくり推進会 / たかつきのサブちゃん / studio FREESTYLE / 高槻ジャズストリート実行委員会 / NPO 法人 緑からのメッセージ / ボランティアグループ槻輪 (きりん) 略称 VG 槻輪 / 安満遺跡青銅祭実行委員会 / ボランティアグループ阿武野 / 寺田軌道株式会社「D51 クラブ」 / 住まいの勉強室+古民家再生 / うさぎのアトリエ ~へーちゃんのおはなしかい~/ こどもの mirai プロジェクト / NPO 法人 GHC 花と緑の救援隊 / 市政に提言 つきの木

会 / NPO 法人 地域猫管理協会 / 歌の会 ひなたぼっこ / 摂津響 Saal / 音楽サークル ドルチェ / 三好芥川城の会 / ピアーチェ / 民舞胡蝶 高槻教室 / 阿武山音楽会 / 高槻太極拳協会・下西健康体操 / ハンガリーのタベ実行委員会 / 高槻市ディスコン協会 / 認定 NPO 法人 プール・ボランティア / M・I キックボクシングスクール / 火串俳句会 / 椋の会 / たかつきライブラリーフレンズ (TLF) / 大阪しの笛協会 / 高槻山歩きの会 / 高槻にみんなの図書館をつくる会 / かげえ劇アクト座 昔ばなし語りべ集団 / NPO 法人 大阪府民カレッジ / 関西詩吟文化協会 邦翠会 / 花と緑のまちづくり高槻景観園芸クラブ / 大阪・高槻・市民放射能測定所 / 一般財団法人 日本熊森協会北大阪地区 / 一般社団法人 たかつき環境市民会議 / NPO 法人 日本森林ボランティア協会 (高槻部会) / 高槻里山ネットワーク / NPO 法人 Future Earth / 茨木・高槻自然に親しむ会 / NPO 法人 芥川倶楽部 / 本山寺自然環境保全地域を考える協議会 / ほのぼのフレンズパーク / NPO 法人 森のプラットフォーム高槻 / 災害避難者の人権ネットワーク / NPO 法人 そなえる OSAKA / NPO 法人 国際ボランティア学生協会 関西支部 / つながろうフクシマつながろう避難者の会 / NPO 法人 阿武山防災研究所 / 関西大学学生団体 KUMC / 笑顔広がれプロジェクト高槻支部 / NPO 法人 高槻技術協会 / RAFIQ (在日難民との共生ネットワーク) / ビッグイシュー高槻 / NPO 法人 シーン (SEAN) / 高槻ジェンダー研究ネットワーク / NPO 法人 ハートオブミラクル / ほっとけん室 / 大阪府高齢者大学同窓会高槻 / 多文化共生サロン高槻 / Connection (A First Step for our future) / NPO 法人 学習創造フォーラム / 日本語ネットワーク / 公益社団法人アジア協会アジア友の会 / バーンパニダー / 異文化を楽しむ会「うさかめ」 / 高槻市日中友好協会 / 海外協力グループ `クスクス` / 公益財団法人 AFS 日本協会 大阪三島支部 / NPO 法人 アジア子供支援フジワーク基金 / NPO 法人 ファミリーサポート金の鈴 / NPO 法人 アフタースクールにじのいえ / NPO 法人 地域ひといき / たかつき保養キャンプ・プロジェクト / 大阪 IJ [いのちの授業] / 社会福祉法人 照治福祉会 / 「子どもの文化」ネットワーク / 一般社団法人 はらいふ / 植畑こども劇場 / 高槻島本人形劇連絡会 / NPO 法人 はぐくみ / NPO 法人 CAP みしま・大阪 / 高槻教育文化センター / NPO 法人 ユニケアー / たかつきおもちゃ病院 / NPO 法人 あっとすくーる / 高槻つばめ学習会 / 一般社団法人 根っこわーくす / NPO 法人 総合レクリエーション工房 チャイルドハート / NPO 法人 高槻ユースオーケストラ / NPO 法人 ノート / 一般社団法人 テツナグ / NPO 法人 三島子ども文化ステーション / 街頭紙芝居師つるちゃん / あそび塾 / NPO 法人 アスリート・パートナー / 空とぶアヒル / STEM 関西 / 希の会 / WSG チャム / 高槻スカウト連絡会 / 一般社団法人 子どもの発達を促す運動遊び協会 / ほむすびの会 / できたよできた おべんとうの会 / 一般社団法人 応援カレンダープロジェクト / NPO 法人 フィールド / 高槻ポップアーツ / itpluss / NPO 法人 高槻ボラパソ / NPO 法人 北摂 SITA / JDM・メディア・ラボ / コスモス会 / お茶の間設計 / 一般社団法人 コモンズハート / 住まいのおしゃべりと手仕事 Chotto (ちょっと) / ガハハ / NPO 法人 たかつき市民活動ネットワーク /